



平成 25 年 9 月 25 日

各位

会 社 名 アンジェス MG 株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 鈴木文彦
電話番号 03-5730-2461

HGF 遺伝子治療の血管新生作用を増強させる併用療法の医薬用途特許が成立 (日本)

ー プロスタサイクリン合成酵素遺伝子治療の併用ー

当社は、日本において HGF 遺伝子治療による血管新生作用を増強させることができる新たな併用療法に関する医薬特許が成立し、本日、特許公報(特許第 5300157 号) が発行されたことをお知らせします。

本特許は、HGF 遺伝子治療の血管新生作用により血流の回復に基づく治療効果が期待される重症虚血肢(末梢動脈閉塞症)や心筋梗塞などの虚血性心疾患に対し、プロスタサイクリン合成酵素遺伝子治療を併用することにより、HGF 遺伝子治療の血管新生作用を増強することで、治療効果を高めることが期待される新たな遺伝子治療法を提供するものです。

プロスタサイクリン合成酵素は、体内において血管拡張作用や血小板凝集抑制作用を有する物質の産生を促します。マウス下肢虚血 ASO (閉塞性動脈硬化症) モデルを用いた検討において、この遺伝子を HGF 遺伝子と併用して導入することにより HGF の持つ血管新生作用が、プロスタサイクリン合成酵素によって増強された血管拡張作用や血小板凝集抑制作用によって相乗効果をもたらすことが示されました。

当社は現在、HGF 遺伝子 (コラテジェン®) を用いた重症虚血肢の国内開発の再開と米国を中心とした国際共同第Ⅲ相試験を計画中です。本発明は現在開発中の末梢動脈閉塞症に対する承認が得られた後、本製品の治療効果を一層増強する手段としてコラテジェン®プロジェクトをサポートするものです。

当社は、本特許以外にも HGF 遺伝子治療に関わる各種医薬用途について追加特許を出願しており、臨床応用の拡大に向けて努力して参ります。

本件による本年度業績への影響はありません。

以上